

# ミズダコ（地方名：あまだこ）

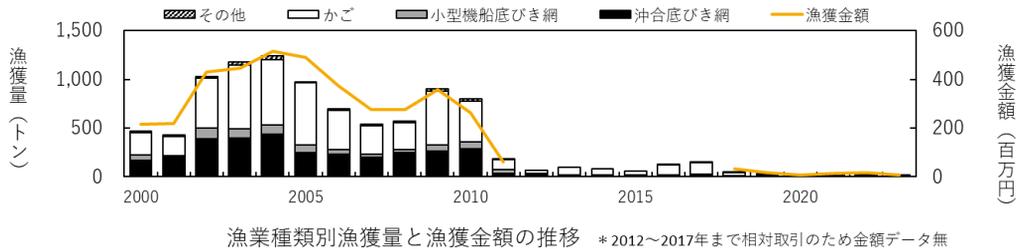
## 1 生態

- ・常磐海域においては、水深300m以浅の海域で分布がみられ、36°20' N以北の海域で分布量が多くなります。
- ・外套長25cm以上で成熟し、交接器を持つ個体がみられます。交接は12～2月に行われ、産卵期は同年の4～6月です。ふ化期は10～11月、翌々年の1～2月に体重100gまで、その年の12月には体重1.5～4.0kgまで成長します。
- ・主に魚類、甲殻類、貝類、イカ・タコ類を食べます。



## 2 漁業に関する情報

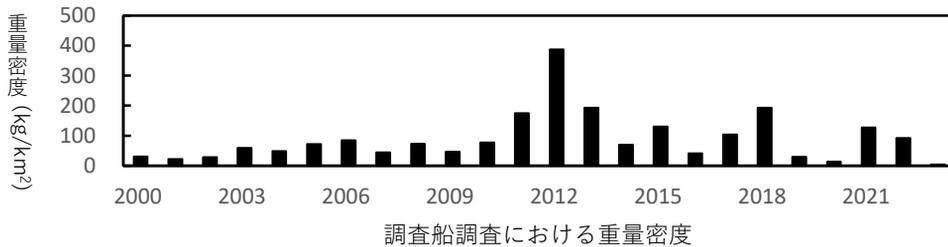
- ・主に底びき網、沖合たこかごで漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は7.3トン、金額は6.9百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2012年（平成24年）7月から再開されています。



漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 \*2012～2017年まで相対取引のため金額データ無

## 3 資源の状態

- ・資源の水準：低位、資源の動向：増加
- ・調査船調査の結果では、震災後、重量密度が増加したが、近年は震災前と同水準となっている。



調査船調査における重量密度

## 4 資源管理の取組み

- ・相双地区の沖合たこかご漁業では一度の水揚げで一隻あたり30個体までの自主規制がなされています。